

核データ・グループ会合議事録

日時 44年3月20日(木) 13:00~17:30
場所 東京本部第1会議室
出席者 中嶋(竜), 中村, 村田, 浅見(明), 浅見(哲), 中島(豊), 西村, 更田, 岡本, 五十嵐, 菊池, 大久保
議長 五十嵐
書記 大久保

議事

1. 運営委員会報告(中嶋(竜))

- シグマ研究委員会規則改正

サブグループは専門部会になる。このまま移行するかどうか未定。

- 44年度予算実行計画

(a) 炉定数グループ(225万円)

1. ENDF/Bの再評価, 炉定数file作成	125万
2. F.P. 炉定数作成	100万
3. 炉定数の評価	0

計 225万

(b) 核データ・グループ(280万円)

1. (n, r)グループ	40万
2. COMFORD	60万
3. U ²³⁸ (n, n')	100万
4. Carbon評価	80万

計 280万

(c) 熱化グループ (180万円)

- IAEA Nuclear data for Reactors.

来年7月ヘルシンキで行なわれる。

- EANDC Request List作成
- 運営委員の園田氏(九大)が辞任されて片瀬氏(九大)が就任。
- 山本氏(日立)の参加希望について検討, 参加していただく事になった(核データ・グループが現在のまま専門部会になる場合)。
- Hollander氏から委員長宛に, level scheme の evaluation, compilation の international committee を作りたいから日本の窓口を作ってほしいとの提案がなされた。これについて検討して, 核データグループとして
 - ① シグマ委員会とは, 別な委員会になるが, Σ center が出来たとき smooth にいくよう contact をよくしていくことが重要。
 - ② 情報を流してほしい。(生のデータで良い)
 - ③ evaluation technique についての information の3点の要望があった。

2. 作業グループ報告

- carbon (西村)
evaluations, errors の意味について
- U^{238} (n, n') (五十嵐)
 $E_n = 0.05 \sim 1.0$ MeVをやっている。
- (n, r) (中村)
 $\sigma(n, r)$ 計算値, 測定値, 評価
 $Cr^{52}, Fe^{56}, Ni, Mo^{98}, Mo^{100}, Mo, Mn^{55}$
- COMFORD (更田)
file 及び, S, <D> を計算するコードは完成, χ^2 分布, localなSを

計算するコードを注文した。

- STEVE (八谷)

出て来る粒子を4種類(n.p.a.r.)にふやしたら計算時間がoverして、赤字が出た。

予算 30万

支出 78万

-48万

- ELIESE
 - STAFF
- } 進行中

3. 核データ収集, 整理作業改革案(浅見(哲))

浅見案の主眼は, data sheetを廃止して, computer index だけにし、記入及び整理作業労力軽減を計る点にある。各人活発な意見が出たが、データ収集作業を続けるか、中止するかが最大の問題である。

主な続行意見

- データ・センターの役割りからすれば、収集するのは当然だ。
- 記入労力は大していらぬ。将来財産になる。
- データ・シートが完全ならば便利だ。

主な中止意見

- CINDAと compete する。
- データ・シートを利用する場合も、原論文にもどるからデータ・シート不要。
- 限られた man power では歯が抜けて役立たない。
- 現状ではデータ・シートをあまり利用していない。
速報性の意味をなさぬ。
- データ・センターは internationalの支部としてあればよい。

各人の意見を4月7日までに核データ研にとどけることになった。